

鶴見大学 中期目標・計画(2021年度報告)

(進捗状況：S:極めて適切に実行している、A:適切に実行している、B:概ね実行している、C:必ずしも実行していない)

【I. 教育】 1. 高大接続の円滑化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
定員管理の厳格化	全学入試対策委員会の運用の実質化	入試センター事務局	全学入試対策委員会を開催し、適切な入試の実施に向け、入試日程、募集定員及びオープンキャンパス等の広報活動について学長はじめ各学部長と協議し決定する。	年間5回の全学入試対策委員会を開催する。 5月、10月、12月、2月、3月	【期末報告】 年間5回の全学入試対策委員会を開催し、入試日程、募集定員及びオープンキャンパス等の広報活動について学長はじめ各学部長と協議し決定することができた。	A	100%	A	—
入試判定基準の見直しによるAPの実質化(大学教育に相応しい学生の選抜)	入学者選抜における進学・学修意欲の確認	入試センター事務局	各学部の入試対策委員会において、入学者選抜における進学・学修意欲の確認	文学部入試対策委員会、短大部入試対策委員会、歯学部入試対策委員会を原則月1回実施する	【期末報告】 各学部の入試対策委員会において、入試判定基準を見直している。前年度の課題点や志願者数の状況を踏まえ入学者選抜における進学・学修意欲の確認した。 文学部入試対策委員会 年間14回実施 短大部入試対策委員会 年間12回実施 歯学部入試対策委員会 年間18回実施	A	100%	A	—
	総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証	入試センター事務局	各学部の入試対策委員会において、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証。	文学部、短大部、歯学部とも各入試対策委員会にて次年度の入試概要を審議する際、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証する。	【期末報告】 各学部の入試対策委員会にて前年度の志願状況や受験生の学力を確認し、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証した。 歯学部総合型選抜においては地方志願者の門戸を開く必要があるとの意見を受け、来年度実施の入試から沖縄会場を加えた。文学部の学校推薦型選抜(一般公募)では各学科の志願者の特性に鑑み、出願資格を拡充した。保育科では学校推薦型選抜(一般公募)の志願者が減少傾向であることから来年度実施の入試より学校推薦型選抜(一般公募)を廃止し、総合型選抜の回数を増やした。	A	100%	C	検証を行いどのような結果に至ったのか、2021年度実績報告欄に追記、もしくはデータを根拠資料欄にアップロードしてください。 ----- 追記を確認しました。今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	学部・学科ごとに、最低限身に付けておくべき学力水準を明確化	入試センター事務局	各学部の入試対策委員会において最低限身に付けておくべき学力水準を検討	今年度推薦入試及び個別選抜等の状況を踏まえ、次年度の入試における入試判定基準の見直しを行い、各学部の入試対策委員会において最低限身に付けておくべき学力水準を検討していく。	【期末報告】 今年度推薦入試及び個別選抜等の状況を踏まえ、次年度の入試における入試判定基準の見直しを行い、各学部の入試対策委員会において最低限身に付けておくべき学力水準を検討した。	A	90%	B	今後、明確化していけるよう努めてください。
	総合型選抜、学校推薦型選抜にも学力考査を取り入れ	入試センター事務局	各学部入試対策委員会にて総合型選抜及び学校推薦型選抜への学力考査の取入れを検討	各学部入試対策委員会にて前年度の状況も踏まえ、総合型選抜及び学校推薦型選抜への学力考査を取り入れるか審議する。	【期末報告】 2022年度入試は短大部、文学部では取り入れないことが決定。歯学部では総合型選抜、学校推薦型選抜(一般公募)の基礎学力試験において、これまでの英文和訳、数学基礎に加え、物理基礎、化学基礎、生物基礎を加えた5つより2つ選べるように決定。2023年度入試は短大部、文学部では取り入れないことが決定。歯学部では現在検討中。	B	80%	B	—

【Ⅰ. 教育】 1. 高大接続の円滑化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
本学の魅力を伝える外部アプローチ	附属高校への出前講義の実施	入試センター事務室	本学附属高校との連携(高大連携委員会)において、附属高校文化祭(光華祭)に「歯学部紹介コーナー」として、歯学部学生及び教員が参加する。出前講義ではないが、「文化財学科体験授業」を附属高校生を対象に本学施設にて実施する。	10月下旬、附属高校文化祭(光華祭)に歯学部紹介コーナーとして参加する。→コロナウイルス感染症の影響で光華祭及び歯学部紹介コーナー、保育科コーナーも中止。出前講義ではないが、文化財学科の体験授業を附属高校生を対象に本学施設にて実施する。	【中間報告】 ・文化財学科の体験授業を附属高校生を対象に本学施設にて実施する。7/24(土) 6号館 ・施設見学会(図書館、学食見学)4/10(土)4/16(金) ・図書館インターンシップ7/26(月)、7/27(火) ・附属病院中央検査室見学7/26(月) 【期末報告】 上記中間報告の行事を行った。	A	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅰ. 教育】 2. 教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
歯学部: 歯科医師国家試験合格率の向上を目指したカリキュラム改革	国家試験支援体制の整備(専門スタッフの配置等)	歯学部教務課	歯科医学教育学講座に専任教員を配置する。	歯科医学教育学講座に専任教員を配置することで、歯科医師国家試験を専門的に分析する精度を高め、客員教授、カリキュラム委員会との連携を深める。	【期末報告】 歯科医学教育学講座、カリキュラム委員会を中心に、IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。「問題作成・管理・分析委員会」でCBTや歯科医師国家試験の分析を行った。	B	70%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	試験回数や内容の効果検証による効率化	歯学部教務課	CBT-Medicalを使用した試験実施により、歯学教育モデルコアカリキュラムに合致した教育内容検証の効率化を図る。	試験の内容とシラバスに記載された歯学教育モデルコアカリキュラムとが合致しているか検証を行う。	【期末報告】 実習を除く全ての科目でCBT-Medicalを使用した試験を実施している。IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。成績の分析を受けて授業内容に反映できるように4年生CBT対策として「総合歯科医学IV実行委員会」6年生国家試験対策として「総合歯科医学VI実行委員会」を組織し対策の検討を行うこととしている。各学年毎のGPA分布図の作成やCBT-Medicalにより成績結果をレーダーチャート形式で作成してフィードバックを行っている。	A	80%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
文学部: 学修意欲(モチベーション)を引き出す教育改革	実学志向の課題解決型アクティブラーニングの導入	文学部教務課	[文学部]各教員による実施。	[文学部]各教員による実施。	【期末報告】 [文学部]令和3年度開講の実務家教員が担当している科目98科目中、22科目(22.4%)でアクティブラーニングを実施した。	A	80%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	卒業生による講義の導入	文学部教務課	[文学部]本学卒業生が非常勤講師として授業を担当している。	[文学部]本学卒業生が非常勤講師として授業を担当している。	【期末報告】 [文学部]本学卒業生12名が非常勤講師として授業を担当した。	S	100%	S	—
	学生の社会貢献活動の正課の教育課程化	文学部教務課	[文学部]学生の社会貢献活動の正課の教育課程化について今後検討する。	[文学部]「文学部将来計画委員会」において、今後検討する。	【期末報告】 [文学部]「文学部将来計画委員会」において検討した結果、社会貢献活動の正課の教育課程化については見送ることとなった。	C	0%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
歯学研究科：ポリシーや基準の明示	シラバスにおける年間授業計画の明示	歯学部教務課	大学院歯学研究科のシラバスにおいて、各科目の年間授業計画については、現在一部の科目(共通科目)のみ明示されている状態になっている。 2022年度には全科目について年間授業計画が明示できるよう整備する。	歯学研究科委員会において、年間授業計画のフォーマットを提示し、全科目の年間授業計画作成を図る。	【期末報告】 2022年度「歯学研究科履修要項」へ年間授業計画の記載を各講座へ依頼した。	B	80%	B	—
文学研究科：研究指導・審査等の不備是正	実態に即した収容定員の設定	文学部教務課	内部進学者の確保と外部志願者の確保。2021年度の在籍者数は次のとおり。博士前期課程は収容定員32名に対して在籍学生数12名、在籍学生比率0.38。博士後期課程は収容定員24名に対して在籍学生数7名、在籍学生比率0.29。(文学研究科)	文学研究科の入学確保のため、文学研究科の進学説明会を実施する。(文学研究科)	【期末報告】 令和4年度入試において、博士前期課程で3名、博士後期課程で3名の入学者があった。入学定員の充足率は博士前期課程18.75%、博士後期課程37.5%であった。	C	10%	C	—
優秀な学生を伸ばす教育的戦略	優秀な学生向けの特別プログラムの導入	教務事務部	[文学部]実施方法を検討する。 [保育科]各教科での対応を共有し、検討する。 [歯科衛生科]総合病院(新百合ヶ丘病院)にて特別プログラムでの実習を実施。	[文学部]実施方法を検討する。 [保育科]各教科での対応を共有し、検討する。 [歯科衛生科]総合病院(新百合ヶ丘病院)にて特別プログラムでの実習を実施。	【期末報告】 [文学部]「文学部将来計画委員会」において神奈川県産学チャレンジプログラムの導入を検討し、令和4年度から参加することになった。 [保育科]公立保育園等の就職対策講座を設置し、さらに個別指導したことにより、公立保育園合格率が向上した。 [歯科衛生科]総合病院(新百合ヶ丘病院)にて特別プログラムでの実習を実施。	C	60%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	SA(スチューデント・アシスタント)、TA(ティーチング・アシスタント)制度の導入と活用	文学部教務課	SA、TAを採用し、文学部学生の学修支援を行う。(文学部)	TAを7名採用。SAは前期16名を採用し、後期は検討中。(文学部)	【期末報告】 年間で、TA7名、SA21名を採用し、学生への学修支援にあたった。	S	100%	S	引き続き、改善・向上に努めてください。
学位の質保証PDCAサイクルの構築	カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直し	教務事務部	[歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科]カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直し、来年度入学生からカリキュラムを変更する。 [歯科衛生科]カリキュラムの検証と見直しを継続。	[歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科]カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直し、来年度入学生からカリキュラムを変更する。 [歯科衛生科]カリキュラムの検証と見直しを継続。	【期末報告】 [文学部]カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直しは既の実施済みである。2020年度までに対応完了している。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行っている。 [保育科]カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直しを行って、来年度入学生からカリキュラムを変更するために文科省に教員の認定申請を行い、認定された。 [歯科衛生科]カリキュラムの検証を行っている。	A	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
学位の質保証PDCAサイクルの構築	シラバス記載内容の充実と整合性の検証	教務事務部	[文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行う。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し、歯科医学教育学講座とも連携し検討を行う。 [保育科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	[文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行う。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し、歯科医学教育学講座とも連携し検討を行う。 [保育科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	【期末報告】 [文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行い、不都合がある場合は科目担当教員に修正を依頼した。 [歯学部]IR推進課と連携を図り、第三者チェックとしてシラバス内容の検証、修正を行った。 [保育科]カリキュラムの変更対象の科目はシラバスを文科省に提出し認定された。全体はシラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施し各教員による訂正済み。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	A	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	履修系統図・ナンバリングの体系的な見直し	教務事務部	[文学部]文学部の履修系統図・ナンバリングについて、教務委員会で随時検討を行う。 [歯学部]カリキュラム変更があった場合は、カリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科]来年度入学生からのカリキュラム変更に伴い、履修系統図・ナンバリングの見直しを行う。 [歯科衛生科]カリキュラムの変更に伴い、新履修系統図・ナンバリングで講義・実習を実施。	[文学部]文学部の履修系統図・ナンバリングについて、教務委員会で随時検討を行う。 [歯学部]カリキュラム変更があった場合は、カリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科]来年度入学生からのカリキュラム変更に伴い、履修系統図・ナンバリングの見直しを行う。 [歯科衛生科]カリキュラムの変更に伴い、新履修系統図・ナンバリングで講義・実習を実施。	【期末報告】 [文学部]文学部の履修系統図・ナンバリングについて、教務委員会で検討を行った。また、令和4年度入学生からのドキュメンテーション学科カリキュラム変更に伴う履修系統図・ナンバリングの見直しも行った。 [歯学部]新カリキュラム移行時に履修系統図・ナンバリングの見直しを行った。 [保育科]来年度入学生からのカリキュラム変更に伴い、履修系統図・ナンバリングの見直しを行い科会及び教授会で承認された。 [歯科衛生科]カリキュラムの変更に伴い、新履修系統図・ナンバリングで講義・実習を実施している。	A	100%	A	—
	ポートフォリオの導入による学修成果の可視化	教務事務部	[保育科]進級時に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行う。 [文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオの導入は既に実施している。	[保育科]進級時に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行う。 [文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオの導入は既に実施している。	【期末報告】 [文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオの導入は既に実施しており、活用している。 [歯学部]5年生で一部導入している。他学年は未定。 [保育科]保育科2年が9月に2年前期までの成績を元に、保育科1年が2月に1年後期までの成績を元に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行った。 [歯科衛生科]検討中である。	B	60%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	アセスメントポリシーの策定と具体的な学修成果指標の設定および分析	教務事務部	[文学部]分析方法の検討は今後行う。 [歯学部]CBT結果や歯科医師国家試験合格率等を分析しながら、適切な試験合格点を検討し、アセスメントポリシーの適正化を図る。 [保育科]策定されたアセスメントポリシーと評価に関する指標を実施。 [歯科衛生科]策定されたアセスメントポリシーと評価に関する指標を実施。	[文学部]分析方法の検討は今後行う。 [歯学部]CBT結果や歯科医師国家試験合格率等を分析しながら、適切な試験合格点を検討し、アセスメントポリシーの適正化を図る。 [保育科]策定されたアセスメントポリシーと評価に関する指標を実施。 [歯科衛生科]策定されたアセスメントポリシーと評価に関する指標を実施。	【期末報告】 [文学部]アセスメント・ポリシーについて、「文学部将来計画委員会」において見直しを行った。 [歯学部]CBT・歯科医師国家試験の結果をもとに検討を行った。 [保育科]策定されたアセスメントポリシーと評価に関する指標を実施した。 [歯科衛生科]策定されたアセスメントポリシーと評価に関する指標を実施。	B	80%	B	—

【I. 教育】2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
学位の質保証PDCAサイクルの構築	授業評価制度の見直し	教務事務部	[文学部]授業アンケートをmanabaで実施。授業公開実施。 [歯学部]学生による授業評価アンケートともに教員同士による相互評価を実施。 [保育科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。前期・後期中間アンケートmanabaで実施。 [歯科衛生科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。前期・後期中間アンケートmanabaで実施。	[文学部]授業アンケートをmanabaで実施。授業公開実施。 [歯学部]学生による授業評価アンケートともに教員同士による相互評価を実施。 [保育科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。前期・後期中間アンケートmanabaで実施。 [歯科衛生科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。前期・後期中間アンケートmanabaで実施。	【期末報告】 [文学部]前期・後期の期間に授業アンケートをmanabaにより実施した。前期・後期の期間に授業公開を実施した。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。授業公開を聴講した教員は授業に関する感想・意見を提出し、また、自身の授業改善の検討資料として活用している。 [歯学部]授業評価アンケートをmanabaで実施したが、コロナ対応により各授業間の公平な評価が難しいと判断し、表彰は見送ることとした。アンケート結果についてはフィードバックし、教育改善に役立てることとした。また、教員相互評価を実施し、教員目線の授業内容の改善を図った。 [保育科]前期・後期の授業アンケートをmanabaで実施した。前期・後期の授業公開を実施し、教員同士による相互評価を行った。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。 [歯科衛生科]前期・後期の授業アンケートをmanabaで実施した。前期・後期の授業公開を実施し、教員同士による相互評価を行った。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。	A	100%	A	具体的な活用方法を2021年度実績報告欄に追記してください。 ----- 追記を確認しました。今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	IR機能の拡充と活動強化	IR推進課	2021年度「学生の学修・生活に関する調査」及び「卒業時アンケート」の実施。 学習成果可視化のための成績分析、入試クロス分析の実施。	・「学生の学修・生活に関する調査」項目策定、Web実施準備、4月～5月に実施、報告書作成。 ・「卒業時アンケート」項目策定、Web実施準備、3月(卒業生確定後)に実施、報告書作成。 国家試験合格状況、退学率、卒業率、就職率の整理。 入試×成績クロス分析の実施。	【期末報告】 2021年度「学生の学修・生活に関する調査」報告書をホームページで公開した。 2021年度「卒業時アンケート」を3月7日から14日まで実施し、報告書などを作成。 2022年度第1回全学教学マネジメント会議を経て、大学ホームページにて公開。 歯学部の成績分析(CBT-Medical、スクエア上の成績情報を利用)、文学部の単位修得状況、各学部学科の累積GPA分布、入試×成績クロス分析等を作成し各学部長に報告。	B	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	GPA制度による進級・卒業判定、退学勧告への活用	教務事務部	[歯学部]教育指導を行う目安や特待生選考の指標として活用する。 [保育科]GPA制度により、進級・卒業時にGPA1.0以下の学生への指導を実施。教務委員会にて報告する。 [歯科衛生科]GPA制度により進級・卒業判定を行い、退学勧告の措置を含めた指導を実施。	[歯学部]教育指導を行う目安や特待生選考の指標として活用する。 [保育科]GPA制度により、進級・卒業時にGPA1.0以下の学生への指導を実施。教務委員会にて報告する。 [歯科衛生科]GPA制度により進級・卒業判定を行い、退学勧告の措置を含めた指導を実施。	【期末報告】 [文学部]GPA制度を退学勧告に活用しており、履修要項にも記載している。 [歯学部]GPA制度により、特待生の選考を行った。 [保育科]GPA制度により、進級時にGPA1.0以下の学生への学修指導を実施。対象学生を保育科専任教員全員が把握し配慮すると共に、担任から指導を行った。結果については教務委員会で報告を行った。 [歯科衛生科]GPA制度により、進級時にGPA1.0以下の学生への学修指導を実施。対象学生を歯科衛生科専任教員全員が把握し配慮すると共に、担任から指導を行った。結果については教務委員会で報告を行った。	A	100%	A	保育科については学生指導内容を明確にするため、2021年度実績報告欄に追記してください。 ----- 追記を確認しました。継続して、改善・向上に努めてください。 また今後の入力について、「実施した指導がどういふものであったか」「委員会等で報告を行い〇〇が共有された」等、より具体的な記述を求めます。

【I. 教育】2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
学位の質保証PDCAサイクルの構築	成績評価の平準化(ルーブリックの活用)	教務事務部	[文学部]今後検討する。 [歯学部]今後検討する。 [保育科]今後検討する。 [歯科衛生科]今後検討する。	[文学部]今後検討する。 [歯学部]今後検討する。 [保育科]今後検討する。 [歯科衛生科]今後検討する。	【期末報告】 [文学部]今後検討する。 [歯学部]今後検討する。 [保育科]検討中である。 [歯科衛生科]検討中である。	C	0%	C	—
	実習巡回・懇談会から得られた知見の授業へのフィードバック	教務事務部	[歯学部]臨床実習の問題点は「臨床実習委員会」で検討し、フィードバックを行う。 [保育科]実習懇談会を実施、実習毎に実施する実習巡回では意見交換を行い、得られた知見は授業にフィードバックする。 [歯科衛生科] 歯科臨床実習懇談会・臨床実習担当者連絡会を行い、得られた知見を授業にフィードバックする。	[歯学部]臨床実習の問題点は「臨床実習委員会」で検討し、フィードバックを行う。 [保育科]実習懇談会を実施、実習毎に実施する実習巡回では意見交換を行い、得られた知見は授業にフィードバックする。 [歯科衛生科] 歯科臨床実習懇談会・臨床実習担当者連絡会を行い、得られた知見を授業にフィードバックする。	【期末報告】 [文学部]実習巡回から得られた知見を、個々の教員が各自授業へフィードバックした。 [歯学部]臨床実習の問題点は「臨床実習委員会」で検討し、フィードバックを行った。 [保育科]実習懇談会を実施し、幼稚園・保育所・施設の実習園が集まり意見交換を行った。実習毎に実施する実習巡回では意見交換を行い、得られた知見は授業にフィードバックした。 [歯科衛生科]臨床実習担当者連絡会を行い、得られた知見を授業にフィードバックした。	A	100%	A	—
	FDの実質化	教務事務部	[文学部]年に2回、実践・情報報告会を開催する。 [歯学部]年2回の歯学部教職員集会の開催とその他必要に応じて教育に関するワークショップを実施する。 [保育科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。 [歯科衛生科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。	[文学部]年に2回、実践・情報報告会を開催する。 [歯学部]年2回の歯学部教職員集会の開催とその他必要に応じて教育に関するワークショップを実施する。 [保育科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。 [歯科衛生科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。	【期末報告】 [文学部]年に2回のFD委員会主催の実践・情報報告会を開催し、それにより得た知見を学生指導に反映させた。 [歯学部]年2回の歯学部教職員集会を開催した。また、PCC-OSCEの評価者養成のための研修を行った。 [保育科]]FD講演会を実施し、学生指導に反映させた。 [歯科衛生科]FD講演会にて「HSP当事者との接し方」についての講演を実施し、学生教育に反映させた。	A	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	履修要項orシラバスにおける科目担当教員への連絡方法の明記	教務事務部	[文学部]学生配布するオフィスアワー一覧表に、専任教員については全員メールアドレスを掲載する。非常勤講師のメールアドレス掲載は任意。 [歯学部]教員のメールアドレスを学生掲示板への掲示とポータルシステムにより公開する。 [保育科]学生配布するオフィスアワー一覧表に、専任教員については全員メールアドレスを掲載する。非常勤講師のメールアドレス掲載は任意。	[文学部]学生配布するオフィスアワー一覧表に、専任教員については全員メールアドレスを掲載する。非常勤講師のメールアドレス掲載は任意。 [歯学部]教員のメールアドレスを学生掲示板への掲示とポータルシステムにより公開する。 [保育科]学生配布するオフィスアワー一覧表に、専任教員については全員メールアドレスを掲載する。非常勤講師のメールアドレス掲載は任意。	【期末報告】 [文学部]学生配布するオフィスアワー一覧表に専任教員全員のメールアドレスを掲載した。非常勤講師の希望者にはoffice365のメールアカウントを配布し、科目担当者への連絡に使用した。 [歯学部]教員のメールアドレスを学生掲示板への掲示とポータルシステムにより公開した。 [保育科]シラバスに科目担当教員への連絡先を明記した。 [歯科衛生科]シラバスに科目担当教員への連絡先を明記した。	A	100%	A	—

【I. 教育】3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
中途退学理由の解明と対策の実施(集中的な退学者対策)	個人面談・オフィスアワーの活用	学生支援課	学生にオフィスアワーを中心とした個人面談の機会を与え、学修面だけでなく、学生生活全般における悩み事を聞き取り、問題解決の糸口になるようにする。	年度初め、学生にオフィスアワーの時間を示す。	【期末報告】 [文学部]成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施。年度初め、学生にオフィスアワーの時間を示す。成績不良者との面談の方法は担任の教員と学生が対面やオンラインで、内容は学修指導である。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、学年主任と情報を共有している。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防いだ。 [歯科衛生科]担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談を実施した。 ※根拠資料あり(文学部、歯学部、短大部オフィスアワー一覽)	B	70%	B	文学部は、面談の形態と内容についての説明を2021年度実績報告欄に追記してください。 ----- 追記を確認しました。今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	職員による学生支援(中退予防)制度	学生支援課	コロナ禍で、登校する学生数も少ないため、難しい状況ではあるが、学生が気軽に相談に来られる様な雰囲気を作り、教員・他部署とも連携を取りながら対応する。 昨年開催できなかった課外活動の新入生歓迎オリエンテーションを開催し、学生同士が交流を持てる場所を作りたい。	教員・他部署との情報共有、連携を図り、問題を抱えている学生の情報を集める。 課外活動の新入生歓迎オリエンテーションの開催方法を考え、実施する。	【期末報告】 学納金の延納願を提出している学生で、奨学金や国の緊急給付金等に申請をして来ない学生に対して、こちらから連絡をして申請させるようにした。 前年度は課外活動勧誘が全くできなかったが、新入生歓迎オリエンテーションをオンラインで開催したことで、学科や学年を超えた交流の場を作ることができた。	A	80%	A	—
	入学試験方法と中途退学者との相関関係(歯学部は国試合格率も)分析と対策	学生支援課	[IR推進課] 2019年度から実施している施策の評価は、2024年度に行う。 その他、モニタリングを行う。 ・入試区分ごとの2020年度卒業率・退学率算出。 ・入試区分ごとの2020年度歯科医師国家試験合格率の分析。 ・文学部指定校推薦者、短大保育科の出身高校毎の在籍状況分析 なお、歯学部については、授業科目に対応する歯学モデルコアカリキュラムのチェック、学生の成績分析等を今後検討。	[IR推進課] 2021年3月～7月 2020年度卒業生、退学者、国家試験合格者と入試区分のクロス分析。 文学部指定校推薦者、短大保育科の出身高校毎の在籍状況分析。	【期末報告】 [IR推進課]2020年度卒業生、退学者、国家試験合格者と入試区分のクロス分析結果を配布した。 文学部指定校推薦者の在籍状況分析結果は文学部長に送付した。 保育科の出身高校別の在籍状況分析結果は、保育科IR担当教員に送付した。	B	80%	B	学生支援課はIR推進課の分析結果を受けた後の具体的な対策方法を、2022年度以降は提示していただく。

【I. 教育】3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
学生一人ひとりが安心できる精神的拠り所の整備(教職連携支援体制の構築)	学生支援に関する包括的なポリシーの策定と専門スタッフの配置・育成	学生支援課	既存の学生支援に関する方針(学生支援ポリシー)を基に、学生に的確な対応ができるようにする。	研修会等、積極的に参加し、情報を収集する。	<p>【期末報告】</p> <p>[文学部]成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施し、学生の学修状況等の確認を行い、指導した。</p> <p>[歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、学年主任と情報を共有している。また、学生委員会に報告書を提出し、情報共有をはかった。</p> <p>[保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談を実施した。</p> <p>[歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。</p> <p>[学生支援課]神奈川県・関東地区等の学生生活協議会に交代で出席し、他大学からの情報を収集及び精査し、課内で共有している。</p> <p>[キャリア支援課]キャリアコンサルタント(国家資格)を有したスタッフを配置し個人面談を実施。必要に応じて課内で情報を共有している。また対応困難な学生に対し専門の資格を有するスタッフがその知見を活かしつつ就職支援を行っている。</p> <p>※根拠資料あり(学生支援ポリシー)</p>	B	60%	B	2021年度実績報告欄に学生支援課とキャリア支援課の追記を求めます。 追記・根拠資料を確認しました。 今後も継続して、改善・向上に努めてください。
意欲ある学生の成長を促す奨学金制度の整備	努力を続ける学生に対する奨学金制度の拡充	学生支援課	2022年度からの歯学部特待奨学生制度の拡充	・規程や細則の整備 ・学生への告知	<p>【期末報告】</p> <p>3月に当該年度の年度GPAを基に、特待生の選考を実施した。</p> <p>新2年生 11名、新3年生 10名、新4年生 10名、新5年生 8名、新6年生 10名 合計49名</p>	S	100%	S	引き続き、改善・向上に努めてください。
学生に関する各種記録のデータベース化による情報共有・支援円滑化	学生面談記録のデータベース化(教員・学生支援課)	学生支援課	事務方で学生と面談した際は、当該学科の主任・科長、学生委員の教員と情報共有を図る。	事務方で学生と面談した際は、当該学科の主任・科長、学生委員の教員と情報共有を図る。	<p>【期末報告】</p> <p>[学生支援課]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、当該学科教員及び当該学部の教務課と情報共有を行った。また、学生の状況によっては保健センターとも連携をして、対応した。データベース化はできていないが、求められれば面談記録等は示せるようにしている。</p>	B	70%	B	2022年度以降、共有方法を確立するよう検討を求めます。
課外活動の振興を目指した環境整備・予算配分	課外活動の発表・表彰制度の導入	学生支援課	安全な課外活動ができるよう、ガイドラインを作成する	ガイドラインを作成し、全学学生委員会で諮る。決定後は、課外活動公認団体の代表者及び顧問に周知する。	<p>【期末報告】</p> <p>文化系団体は主に大学祭において各々の活動についての発表を行っている。併せて大学報で年に2回、活動内容を掲載している。</p> <p>体育系団体については、常に活動報告書を提出してもらい、大学報で年に2回、試合結果や成績等を掲載している。</p> <p>文学部・短期大学部同窓会、歯学部同窓会より、課外活動で顕著な成績を残した学生や活躍した学生に対して、奨学金を給付している。</p> <p>コロナ禍における課外活動を安全に行えるよう、ガイドラインを作成し、各団体に周知し、適切な活動を行った。</p>	S	100%	S	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅰ. 教育】 3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
愛校心・帰属意識を高める工夫	大学行事(イベント)や広報への学生の積極的な参画	学生支援課	コロナ禍での大学祭の開催方法を模索し、今年度は開催するオープンキャンパスやキャンパス見学会を対面型で実施する。学生の参画も各学科の意向を確認しながらすすめていく。 (学生支援課)紫雲祭を安全に開催できるようにする。	紫雲祭実行委員と密に連絡、相談をしながら、開催方法を検討する。 オープンキャンパスは学科別で午前午後開催で分散し、さらに参加者の上限を70名とする。ただし、社会情勢に鑑み、上限は変動する。 キャンパス見学会も密にならないように実施する。 (学生支援課)紫雲祭の開催に向け、新型コロナウイルス感染症感染対策を考慮の上、開催方法を考え、安全に開催できるようにする。	【期末報告】 オープンキャンパス→5月、6月、7月、8月、9月、3月で実施しすべてに学生は参画した。 保育科ミニオープンキャンパス→4月、5月、6月、9月で実施しすべてに学生は参画した。 【期末報告】 [学生支援課]紫雲祭は当初対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染対策としてオンライン開催となったが、実行委員13名が試行錯誤をしながら開催できた。	S	100%	S	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅱ. 研究】 1.学部の枠を超えた学際的研究環境の構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
研究意欲の喚起・推進	研究・教育業績と連動した研究費の配分の見直し(助教以上科研費申請なしで研究費減額)	教育研究支援課	専任教員以上の科研費等外部資金申請状況の把握	過去3年間に遡って各研究者の申請状況をデータ化する。大学、短大ごと、各学部ごと、各学科、各講座ごとにも随時データ化を行う。	【期末報告】 各研究者ごとの科研費申請状況をデータ化し、把握したものの、研究費自体が大分削減されているため、科研費申請なしによる研究費の配分見直しについては実現できなかった。 ※根拠資料あり	C	20%	B	データ化した「科研費申請状況」を2021年度根拠資料欄にアップロードしてください。 2022年度以降も継続してデータ化を行ってください。 ----- 追記を確認しました。 今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	教員の年次研究計画の作成と審査の実質化	教育研究支援課	2021年度教員の研究計画を提出していただく。 2020年度教員の研究計画報告をしていただく。	各教員、講座へ提出依頼を実施。期日を設定して提出をしていただく。	【期末報告】 全学部・全学科から提出済み。全てをまとめて学長へ報告、提出済み。(2021年10月20日) ※根拠資料あり	A	80%	A	「教員の年次研究計画」については実績報告がされていますが、「審査の実質化」についても2022年度以降、検討を行ってください。
	URAの配置など、科研費申請の推進指導、サポート体制の強化	教育研究支援課	科研費申請の推進指導、サポート体制強化	科研費の各種目ごとの公募通知を実施する。 科研費学内説明会を開催する。	【期末報告】 科研費の各費目について公募を実施した。(2021.7.7、2021.8.2、2022.3.2) 外部資金獲得支援のための動画講座公開(2021.9.7)	A	80%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	サバティカル研修制度の導入	教育研究支援課	該当なし	該当なし	【期末報告】 研究費削減の中でも各種助成金、外部資金獲得等の研究推進を行っている。	C	30%	C	—

【Ⅱ. 研究】 1.学部の枠を超えた学際的研究環境の構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
研究業績の学内外共有とマッチング機能による共同研究推進	教員の研究業績のデータベース化(機関リポジトリの導入)	教育研究支援課	教員の研究業績のデータベース化	研究業績プロ(システム)についての活用継続と推進 研究業績プロ(システム)に力を入れてもらうよう各研究者に通知を行う。	【期末報告】 研究業績プロに入力していない専任教員に向けてメール等で通知を行った。これについては継続して定期的に入力を促していく。	B	80%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	企業や海外大学との共同研究	教育研究支援課	企業との共同研究の推進	企業との共同研究の推進	【期末報告】 令和3年度の企業との共同研究については継続して適切に実施した。	A	80%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。 中期計画が「企業や海外大学との共同研究、奨励費の創設」となっていますが、「奨励費の創設」については、現状から見て適切ではないため2022年度以降の計画から一部文言を削除しました。

【Ⅲ. 医療】 1.社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上と診療効率化	患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上	病院事務部	昨年度実施できなかった改修案を実現化に向けて検討を進める。	・2階中央検査室を1階生理検査室内に移設、採尿用トイレを設置。患者の利便性と配置数が少ない臨床検査技師を効率的に業務遂行させる目的。 ・3階にスペシャルニーズペイシェント外来(高齢者歯科と障害者歯科の統合)を設置。多目的トイレを設置。 ・3階総合歯科1、2、口腔保健科、消毒器材室の配置の見直し。PCC-OSCE対応ルームの設置。歯科衛生士の業務効率化と教育環境の充実。	【期末報告】 新型コロナウイルスの感染防止対応を最優先としたため、本計画の実施は見送った。次年度、実現化に向けて進めていく。	C	30%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
	医療スタッフ動線や設備数・配置等の最適化による診療効率化	病院事務部	昨年度のフロア制を継続する他の診療科についてもフロア制を検討する	歯科衛生士のフロア導入制	【期末報告】 令和3年1月より試行していた①保存科と補綴科(同フロア)・②小児歯科と障害者歯科(異なるフロアで診療内容に共通性がある場合)は、概ね実行できた。 その他、総合歯科1と総合歯科2(同フロア)のフロア制試行を開始した。	B	60%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅲ. 医療】 1.社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
病院内に地域連携室を設置し、地元の医療機関や歯科医師会と連携した地域医療ネットワークを構築	横浜市の中核病院である済生会横浜市東部病院や歯科医師会と連携し、周術期の口腔ケア機能を拡充	病院事務部	地域医療連携室より歯科医師会・医師会等の関連機関に広報活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの活用 ・案内通知等の作成 ・済生会横浜市東部病院の周術期患者の受け入れ枠を増やす。 	<p>【期末報告】</p> <p>横浜市歯科医師会の会員(会員数:1,578名)に会報誌を送付する際に、当院が作成した「地域医療連携室開設のご案内」を同封していただいた。病院HPに地域医療連携室開設のお知らせを掲載したところ、開業医より問い合わせの連絡が入るようになった。周術期口腔機能管理受診者数は昨年度よりは若干増加した。 ※根拠資料あり</p>	C	30%	B	<p>引き続き、改善・向上に努めてください。</p> <p>会員数が「約1,600名」と入力されていましたが、2-3-2の年度実績に具体数「1,578名」とありましたので、そちらに合わせ書き換えています。ご確認の上、修正・追記等あれば、2021年度実績報告欄に入力を行ってください。2022.8.18.会員数修正の件、確認済み。</p> <p>追記・根拠資料を確認しました。また、評価の見直しも行いました。今後も継続して、改善・向上に努めてください。</p>
	障がいを抱える患者様を対象とした、日帰りの全身麻酔下歯科治療の実施体制を強化	病院事務部	横浜市と連携し、患者を受け入れる。	歯科麻酔科にて1日/週で予約を受ける。	<p>【期末報告】</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、目標としていた患者受け入れ1日/週を行うことができず、昨年度とほぼ変わらない受け入れとなった。</p>	B	50%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅳ. 社会貢献】 1.地域(住民・行政)と總持寺、本学の3者が一体となった西口エリアの再開発(街づくり)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
街づくり・地域活性化のためのコンソーシアムの形成と運営	地域(住民・行政)並びに總持寺と連携した事業やイベントの実施	地域連携推進課	輪島市民セミナー開催 輪島物産展開催 プロジェクト協力	<p>總持寺祖院のある輪島市と包括連携協定を結んでいることに基づいて、輪島市民セミナー・輪島物産展を開催し、輪島市に鶴見大学を、また鶴見に輪島市をPRする。</p> <p>また、2021年度は總持寺開創700周年に当たる年で、それを記念して輪島市にて禅と海里づくり交流促進プロジェクトとして、大本山總持寺・大本山總持寺祖院・輪島市・横浜市鶴見区・鶴見大学・全国曹洞宗青年会の6団体が合同で多くのイベントに参加、協力する。</p>	<p>【期末報告】</p> <p>・輪島市民セミナー(オンデマンド)参加者数は歯学部セミナー・歯科衛生科セミナー共に22名。 ・總持寺開創700年特別記念講演(オンデマンド)参加者は27名。</p>	S	70%	S	引き続き、改善・向上に努めてください。

【IV. 社会貢献】 2.地域ニーズと学内資源(文学・健康医療・子育て支援・施設)のマッチング強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
文学部・歯学部・短大部の知を活かした生涯学習の再構築	地域ニーズのサーチと本学の特徴を活かした生涯学習の在り方を検討	地域連携推進課	地域ニーズ及び新型コロナウイルス感染症の影響下での運営を検討・実施	対面及びオンラインでの講座運営を検討	【期末報告】 ・R3-1:生涯学習オンデマンド講座受講者数147名 ・R3-2:令和3年度つみ連携カレッジ「鶴見の保育・輝く未来に」オンライン開催受講者数106名	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	学内教員を中心とした講座編成(インセンティブ付与)	地域連携推進課	つみ連携カレッジ講座の学科依頼 各学科及び附置機関への講座依頼及び開講	令和3年度つみ連携カレッジ「鶴見の保育・輝く未来に」申込開始 R3-1オンライン講座「歯の健康」「いつまでも口から食べたい」開講	【期末報告】 ・R3-1:生涯学習オンデマンド講座受講者数147名 ・R3-2:令和3年度つみ連携カレッジ「鶴見の保育・輝く未来に」オンライン開催受講者数106名 ・大学で学ぼう～生涯学習フェア～:ライブラリートーク「不老は口から～アンチエイジング医学の最前線～」同時接続受講者数59名	A	70%	A	—
	生涯学習セミナーのより体系的な学修への接続を検討	地域連携推進課	生涯学習セミナーの見直しを図る 新規事業として検討	地域連携推進委員会にて生涯学習セミナーの見直し	【期末報告】 これまでの生涯学習セミナーは中止とすることが決定。 大学の経営状況、費用対効果を考慮した事業を検討していく。	C	0%	C	—

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
学園(大学)のあるべき姿・将来像の明確化	将来像を実現するための中長期計画(100周年含)の策定	総合企画課	2020年度はコロナ禍対応等の影響により具体的な計画の策定や実施にまで至らなかった。2021年度には中期計画マネジメントシステムの本格運用を開始し、具体的な計画の策定を急ぐとともに、進捗管理を推進する。	・全学自己点検評価委員会を少なくとも年3回(次年度計画・策定、計画進捗報告、計画実績報告)開催し、定期的な管理に努める。	【期末報告】 ・2021(令和3)年度は、利用開始してから初めて年間を通しての運用ができた。 ・入力内容は事業実績(中間)報告書の一部として、会議に資料提出を行った。 ・中期計画、目標は数年前に策定され、現在の状況とは適合しないものもあったため、全体の見直しを行い2022(令和4)年度からの新たな管理体制を整えた。	A	50%	A	組織立った自己点検・評価活動を行ってください。
効率的な組織づくりによるガバナンスの質向上	定期的なUD開催による将来像と中長期計画の全学的な議論・共有・浸透	総合企画課	現在実施中。Vision2024の解説や、キャンパス再整備計画の進捗状況等、多くの教職員が興味を抱いている事項について、進展があり次第その都度UDIにて報告し、情報共有を図っている。	年度内にUDを開催する。	【期末報告】 ・2021(令和3)年度は開催に向け、具体的な打合せを行うことができなかった。	C	10%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
学内情報共有の円滑化	大学運営協議会の設置・運用などによる他学部・他部署の教職員間の情報交換	総合企画課	前年度同様に、大学運営協議会の定期開催に務める。	月1回(可能であれば毎月理事会前に)開催し、情報交換と共有に務める。	【期末報告】 ・月1回は安定的な開催ができており、理事会前の最終確認会議としても機能している。	A	60%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
学内情報共有の円滑化	業務支援・教育支援のためのインフラ(各種システム)の運用強化・利便性向上	情報システム課	<ul style="list-style-type: none"> ・全学的VPN(リモートワーク用)を導入し、4月以内に運用を開始する。 ・学務システム・LMSのカスタマイズを9月以内に実装する。 ・無線APを6月までに増設する。 ・ESET(ウィルス対策ソフト)のクライアント導入率8割以上とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・VPN:4月初旬より、ネットワーク業者との打ち合わせを開始し、具体的な接続方法を確定する。 ・学務システムカスタマイズ:4月初旬より、関係部署にヒアリングし、カスタマイズ内容を確認、確定する。 ・無線AP:4月初旬より、関係部署にヒアリングし、AP設置を確認、確定する。 ・ESET:4月初旬より、教職員に再周知する。 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VPN:4月末に導入・実装し、学生・教職員に利用方法等を3回周知を行った。 ・学務システムカスタマイズ:身上調書Web化について、2022年3月実装に実装を完了した。 ・無線AP: AP設置は不要となった。 ・ESET(ウィルス対策ソフト):教職員への周知を徹底し、クライアント導入率8割となった。 	A	40%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
広報活動・情報発信の戦略的な取り組み	広報部の設置による学内外の情報発信一元化	総務課	1.広報事業の全学的一元化に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・広報委員会の改組等による全学的な広報事業の把握 ・広報事業の所管性の明確化に向けた取り組み ・各部署間での広報活動の連携 	<p>【期末報告】</p> <p>全学的な広報一元化に向けては計画、実施には至っていないが、各部署間等での広報活動のための情報共有は行っている。</p>	B	30%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	HPで学内外に向けた積極的教員紹介	教育研究支援課	研究者による研究業績プロ(システム)への入力	研究業績プロ(システム)に入力を行ってもらうよう各研究者に通知を行う。	<p>【期末報告】</p> <p>研究業績プロに入力していない専任教員に向けてメール等で通知を行った。これについては継続して定期的に入力を促していく。</p>	B	70%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	各HP(大学・学部・病院)の一体的なりニューアルと逐次更新による情報発信力強化	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・動画及びSNSを活用した情報発信 ・教職員のメディア等の出演情報に関する発信 ・教職員の社会貢献情報に関する発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の確保等を目的とした動画の制作、及び複数のSNSを導入して発信する。 ・学部、附属病院等に所属する教職員の活躍を取り上げたメディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等)の情報の収集、及び申告システムを整備して、一元的に発信する。 ・教職員における政府、地方自治体、公益法人等における参加状況(委員、役員等)及び協定等の状況を把握し、一元的に発信する。 	<p>【期末報告】</p> <p>入試センターでは5月に受験生応援サイトを立ち上げ、受験生が入試情報を取得しやすいようにした。ホームページには入試情報を逐次更新し受験生応援サイトと連動するようにした。</p>	B	70%	B	メディア出演等については、情報収集体制の強化に努めてください。
	SNSを活用したリアルタイム情報発信強化	総務課	在学生用のLINEアカウントを作成し、各種情報発信の体制を整備する。SNSを活用したリアルタイム情報発信強化	10月以降、チャットボット導入時に在学生用のLINEアカウントを作成する 各部署・団体ごとに公式アカウントを作成する	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャットボットの一部運用を開始。また、LINEアカウントは全面的に運用中。 ・Twitterは14、Instagramは10の公式アカウントを開設し、それぞれ最新情報を発信している。 	C	30%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
広報活動・情報発信の戦略的な取り組み	マスコットキャラクターの活用促進	総務課	・学内外のイベント等への参加による知名度向上 ・マスコットキャラクターをデザインに取り入れたオリジナルグッズをより多くの人に手に取って利用してもらう	・オリジナルグッズの新規作成	【期末報告】 ・コロナ禍の影響により、感染対策の掲示物や遠隔授業で使用する教材等の作成が増え、その掲示物等にイラスト使用頻度が増加した ・オープンキャンパスや高校訪問でのグッズの配布や学内の売店での販売を継続 ・大学案内パンフレットの撮影、学校紹介動画の出演、紫雲祭の参加、その他外部でのイベントへ参加した ・来年度オープンキャンパスにて配布するオリジナルグッズを3種類作成	B	70%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
教員組織の質向上	教員の評価・処遇の公平性確保	人事課	本学の教員の評価制度について検討確認する	学部別の教員評価について確認する	【期末報告】 職員の評価を議論する過程で、歯学部教員の評価について検討を行った結果、当面は現行の評価方法を用いて進めていくことが望ましいのではないかととなった。 文学部、短期大学部については今後継続して確認していく。	C	20%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
	教員の任命権の明確化	人事課	専任教員の採用及び非常勤講師の採用に関しての厳格化を図る	専任教員の採用に際して、学長、副学長を中心とした協議を経る 非常勤講師の継続者を含めた次年度採用に関して、各学部からの申請を12月末までとする	【期末報告】 文学部、短期大学部の専任教員募集に際して、学長、副学長を中心とした協議を経たうえで、正式募集を実施する流れとした。非常勤講師の採用(1年契約)に関しては、各学部へ講師数(コマ数)の制限と非常勤講師の名簿等の提出期限を早めた結果、発令日をまたいだ決裁であったものを正し、発令日前の決裁とした。	B	40%	B	1-5-3との入力内容に齟齬があるため、整合性を確認し、修正したものを2021年度実績報告欄に再提出してください。 修正内容を確認しました。 今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	職位に相応しい採用要件(資格・業績等)の明文化	人事課	採用に関する現行規程の活用を進める	専任教員、非常勤講師に関わらず選考規程に基づいた結果を記録として残す	【期末報告】 短期大学部の新規非常勤講師採用に当たって、関連規程に基づいた運用を行っているが、教授会議事録等に採用根拠の記録が認められなかったため、所管部署に働きかけた結果、議事録に明確に記録された。なお、従前より新規専任教員採用は明確に記録されている。	C	30%	C	1-5-2との入力内容に齟齬があるため、整合性を確認し、修正したものを2021年度実績報告欄に再提出してください。 修正内容を確認しました。 今後も継続して、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
教員組織の質向上	文学部教員組織のST比の改善(学科間の不均衡是正)	人事課	文学部所属教員数に関して、その構成の見直しを行う	文学部所属教員の退職補充に際して、ST比の改善に向かうべく採用する学科を考慮する	【期末報告】 文学部各学科のST比を考慮し、日本文学科所属教員の定年退職の人員枠をドキュメンテーション学科所属教員の新規採用枠へと変更し、ドキュメンテーション学科のST比の改善へ結び付けた。令和3年5月1日現在の学生数と比較すると、ST比は42.1から36.9となる。	C	30%	C	2021年度実績報告欄に、具体例を再提出してください。締めの一文「今後も教員人事計画を踏まえた大学の方針を再確認し、学長、副学長、事務局長、総務部長と協議して具体的に進めていかねばならない。」に関しては実績ではないため再考してください。 ----- 修正内容を確認しました。今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	大学として求める教員像・要件の明確化	人事課	総持学園 Vision 2024 に謳われている、本学の教育理念と現状を比較確認する	大学として求める教員像・要件の確定	【期末報告】 実際に教員が担っている、教育、研究、社会貢献及び大学運営等を考慮し、教員像、要件を確定すべきであったが、個別の情報収集にとどまってしまった。	C	10%	C	原案を示してください。2021年度実績報告について再考し、再提出を行ってください。 ----- 修正内容を確認しました。今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	教員組織の編制方針の策定・運用(業績・年齢・男女比等の不均衡是正)	人事課	大学設置基準の規定に向けた歯学部教員数の是正	教員数は正に向けた希望退職事業の計画と実施	【期末報告】 大学設置基準を根拠とした、歯学部教員数の是正へ向けた「ゼロ年」として開始した。同所属教員に対して希望退職者を募集し、結果21名の応募があり退職を認めた。今後については、鶴見大学中・長期計画を改めて確認し、その計画に沿った教員組織に関する編成方針を策定、運用していくことを、学長、副学長、事務局長、総務部長と協議し進めていく。	B	30%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
職員組織の質向上	大学として求める職員像(資質・能力)の明確化	人事課	職員人事制度と教員処遇に関する検討を進めていく。	職員人事制度改革の進捗状況に合わせた教員処遇制度に関する検討を進める。	【期末報告】 各職位に対して求める資質、能力についての素案は作成しているが、職員人事制度改革実施時の関連事項であるため、単独案件としての具体的な提案までには至っていない。	C	30%	C	検討の進捗状況、具体的な内容を明確にしてください。報告内容について再考し、2021年度実績報告欄に入力してください。 ----- 修正内容を確認しました。作成した素案については、2022年度以降根拠資料としてアップロードしてください。今後も継続して、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
職員組織の質向上	職員の人材育成方針の策定・運用	人事課	引き続き検討を行い、制度についての概要を提示できるようにする。	昨年度、新型コロナウイルス感染症への対応により実施できなかった階層別研修へ、昨年度までの要素を加えて実施をしていく。	【期末報告】 人事制度の構築と並行して進めており、従前より継続している階層別研修にもその要素を盛り込み実施している。階層別研修でのグループワーク等を通じ、他部署職員と考えを共有しながら共同作業を経験することで、所属部署を超えた協働の意識を持った人材の育成を実施した。	B	40%	B	報告内容について再考し、2021年度実績報告欄に再提出してください。 ----- 修正内容を確認しました。 今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	勤怠・出張・交通費等管理の効率化	人事課	勤怠管理システムについて、事務職員に関しては2021年4月に本稼働し、年度中に適用できる職員の範囲を広げる準備を整える。	勤怠管理システムを本格導入し、不具合等を含めて再検証する。 医療系職員に対しても導入する環境を整える。	【期末報告】 附属病院医療系職員は、2022年1～2月に環境整備、3月プレ導入を済ませた。次年度当初からの本稼働を迎える。 三松幼稚園教職員は、2022年1～2月に環境整備を済ませ、3月からプレ導入と進めていく予定であったが、その過程で変形労働制の設定の問題から当初計画から2カ月遅い2022年度5月本稼働となる。	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	高度専門人材の活用による業務の高度化	人事課	学内資源の探索と育成	本学に在籍している職員が、本人も意識していない能力を気付かせる研修の実施	【期末報告】 本学にとって、階層別研修などを初めて実質3年目（コロナ禍で中1年実施していない）であったが、自己研鑽の助力になっていると考える。 新規採用計画が進まない現状において、在職者の中に高度専門人材を見出していくことが望ましい。その者の高い専門性、適切な提案力、及び適切な技術・方法・プロセスで主体的に課題解決に導く人材を確保していきたい。現在のところ、高度専門人材を活用するという事には至っていない。	B	40%	B	—
	採用要件（資格・能力等）の明文化と公募による優秀な人材確保	人事課	新卒事務職員について、公募にて計画的な採用を目指し、優秀な人材を採用する。	採用するのに必要な条件を明記し、自学及び関連大学を含めて公募する。	【期末報告】 当初採用活動を進めていったものの、財政再建のうで人件費の削減を優先させるため、大学新卒者採用及び中途採用についての再考を必要とし、新規採用の実施そのものは先送りとなった。	B	30%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】2.経営基盤の強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
収支バランスの回復に向けた財政運営	将来像に合わせた中長期財政計画の策定	経理課	令和3年度事業計画の中でも、中長期財政計画の策定を最重要課題とした。 まず、収支バランス改善のため、歯学部、短大部、附属中高の学生・生徒確保を図り学納金収入の増加を目指す。また、支出抑制のため、令和3年度中にメリハリのある業務精査や教職員組織の最適化を図る。歯学部では、他校との比較により学納金や奨学金制度の見直しを行う。文学部、短大部も同様の検証を進める。	4～7月 歯文短の入試対策を踏まえた複数のシミュレーション検討による計画の絞り込み。 7月 理事懇談会でシミュレーション結果を説明し意見聴取 8月 学内理事連絡会、協議会を経て理事会で報告 9月 令和4年度予算編成方針(案)に合わせ長期財政計画として理事会で説明	中長期財政計画シミュレーション(案)を学内理事連絡会・協議会で検討したうえで、7月の理事懇談会、8月の理事会にて報告、9月の理事会にて報告するも検討を要するとして再検討となった。 【期末報告】 立案方法等を含め検討継続中。	B	50%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	費用対効果を意識した事業の精査・効率化	経理課	経常収支バランスの回復に向けた財政運営 中長期計画に基づく令和4年度予算の策定 新年度(令和3年度)の予算編成は、中長期計画のに基づくものとして前年度からの基本方針に沿って策定する。	経費節減等適正化計画の本格実施 各部門ごとに具体的な目標設定と取組状況等の進捗管理と実績管理の徹底	【期末報告】 附属病院への院内物流管理システム(SPD)導入を含め検討継続中。 各事務部門経費の削減についても実施。相見積の依頼、節約、値引き交渉により管理経費を前年比で5%削減。 ※根拠資料あり	B	50%	B	附属病院以外の部門についても実績があれば、2021年度実績報告欄へ追記してください。 ----- 追記・根拠資料を確認しました。 今後も継続して、改善・向上に努めてください。
	学内資源を有効利用するための既存業務見直し	総務課	学内資源を有効利用するための既存業務見直し	・業務配分の負担軽減 ・業務における適性化	【期末報告】 実施には至っていないが、次年度に向け、各部署と連携を取りながら業務配分の負担を軽減していく。	C	10%	C	—
	周辺業務の非専任化やアウトソーシングの推進、事業法人化	総務課	業務の効率化や人件費の抑制を図るため、各部署の周辺業務を把握し、非専任化やアウトソーシングを推進する。	担当部署と連携し、推進に向けて取り組みを考察する。	【期末報告】 実施には至っていない。	C	0%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
	ホール、運動場、会議室、空き教室等大学保有施設の外部有効利用	管財課	・授業等に支障をきたすことがないように、地域貢献の一環として外部が利用できるように調整する。 ・体育館・グラウンド・教室等は利用料の設定	・申込に対し、可能な限り対応できるように学内を調整し、申込団体とコロナウイルス感染対策を含んだ協議の上、利用できるようにする。 ・体育館・グラウンド・教室等は利用料を検討する。	【期末報告】 2021年度の貸出件数(キャンセルは含まず) 記念館(ホール・講堂)5件 1号館5件 2号館1件 5号館1件 体育館2件 師岡グラウンド18件 荒立グラウンド64件 ・体育館・グラウンド・教室等の利用料は近隣大学の施設貸出状況や利用料を調査したが、コロナ禍にあるため感染対策等を考慮し、利用料等を含む規程制定しての一般的な開放については今後の検討課題とした。	A	70%	A	2022年度以降も調査・検討を進めてください。

【V. 大学運営】2.経営基盤の強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
収支バランスの回復に向けた財政運営	病院(医療)収入の増加と支出の抑制	病院事務部	既存の契約内容を見直し、委託費を圧縮する。 T-DECを活用すべく内注を増やし、外注技工件数を減らし委託費の削減に努める。 周術期口腔管理の受け入れ患者数を増やす方向で、医療連携している済生会横浜市東部病院と調整を図る。	CAD/CAM冠が保険収載されたため、技工研修生に担当させ、自費の技工物は上級者が担当し増収に繋げる。	【期末報告】 院内技工件数は昨年度より増加したが、外注技工件数は技工士の減少により若干増えてしまった。なお技工総件数は昨年度より増加した。次年度は自費で行うインプラント技工の院内件数を更に増やし増収に繋げたい。 周術期口腔機能管理については、昨年度より増収した。新型コロナウイルス感染症の状況によるが、次年度は受け入れを更に増やしたい。	A	60%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】3.同窓会との連携強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
同窓会と協働で行うイベント・学生募集	ホームカミングデーの開催	総務課	ホームカミングデーの開催	同窓会と関係部署と連携しながら計画及び実施をしていく。	【期末報告】 2021年度はコロナ禍の影響もありWebでの開催となったが、学長や歯学部長の挨拶をはじめ、教員による学術講演会等も行われた。今後も共有できる情報を同窓会と共に卒業生に発信していく。	C	10%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
	同窓生の優遇措置(現在は歯学部のみ実施)	入試センター事務室	歯学部同窓会推薦入試の受験者増、同窓会長推薦の入学金減免制度の利用者増を狙いたい。	今年度歯学部入試の対象者から学納金の変更、奨学制度のリニューアルが行われたため、志願者が増えることも期待できる。	【期末報告】 同窓会推薦(入学金減免)1期、2期、同窓会地方支部長推薦(入学金半額減免)2期、編入学(入学金半額減免)、総合型選抜(同窓会長推薦入学金減免)1期での出願があり、それぞれ優遇措置を受けた。2023年度入試より短大部において同窓会推薦を導入したが学納金や検定料等の優遇措置はない。 ※歯学部の実績については根拠資料に添付します。	A	70%	B	実績値について、2021年度実績欄に追記、もしくは根拠資料欄にアップロードしてください。 2022年度以降は他学部の導入も検討してください。 ----- 根拠資料を確認しました。今後も継続して、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】4.機能的で心地よいキャンパスの再構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
地域や街の文化と融合したキャンパス景観づくり	禅をコンセプトにした統一感のあるキャンパス	管財課	キャンパス再整備事業リニューアル計画において可能な部分を検討する。	キャンパス再整備事業リニューアル計画において可能な部分を検討する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。	C	10%	C	—
	仏教の魅力を伝える教育機能・文化施設の整備	管財課	キャンパス再整備事業リニューアル計画において可能な部分を検討する。	キャンパス再整備事業リニューアル計画において可能な部分を検討する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。	C	10%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 4.機能的で心地よいキャンパスの再構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
地域や街の文化と融合したキャンパス景観づくり	若者が魅力を感じるオシャレなキャンパス作り	管財課	キャンパス再整備事業リニューアル計画において検討する。	キャンパス再整備事業リニューアル計画において検討する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。	C	10%	C	—
	動線に配慮した利便性の高いキャンパス	管財課	キャンパス再整備事業リニューアル計画・リノベーション計画において検討する。	キャンパス再整備事業リニューアル計画・リノベーション計画において検討する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。	C	10%	C	—
	学生の憩いの場(カフェ・ラウンジ・広場)がある居心地の良いキャンパス作り	管財課	キャンパス再整備リニューアル計画において検討する。	キャンパス再整備リニューアル計画において検討する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。 また、南門広場及び教科書販売所を学生が休憩できるスペースとして整備した。	C	50%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	誰もが安心して過ごせるバリアフリー化やセキュリティ強化	管財課	キャンパス再整備リニューアル・リノベーション計画において検討する。	・キャンパス再整備リニューアル・リノベーション計画において検討する。 ・1号館の一部に点字ブロックを設置する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。	C	10%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
	機器・設備の統一化・標準化による維持・管理の効率化	管財課	授業等に支障がないように経年劣化による老朽化、不具合が多発している機器設備等の更新を行い、維持・管理に努める。	・記念館空調設備更新 ・記念ホール舞台袖装置更新 ・附属病院診療室電灯盤取替 ・体育館空調機新設 ・学生寮受変電設備更新 ・中高のり面防災機能補強改修(防球ネット移設含む) 【キャンパス整備の中で検討】 ・4号館受変電設備更新調査 ・附属病院医療系配水排水管更新、附属病院診療室等統合整備、附属病院第3講堂内装改修 ・体育館昇降装置新設	【期末報告】 ・計画・予定していた工事・更新は概ね完了した。 ・記念館空調工事は調査を行った結果、工事は来年以降となった。 ・病院診療室電灯盤取替は施工箇所が多いことから来年度も引き続き工事を行う。 ・4号館受変電設備更新調査、附属病院の医療系排水管更新、診療室等統合整備、第3講堂内装改修については今後の検討課題となった。	B	30%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】4.機能的で心地よいキャンパスの再構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員会	評価理由、コメント等
効果的な学修空間づくり	アクティブラーニングを促すフレキシブルな学習環境整備	管財課	キャンパス再整備リニューアル計画において検討する。	キャンパス再整備リニューアル計画において検討する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。	C	10%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
	図書館などの利便性向上による利用率拡大	図書館事務室	コロナ禍における利便性向上を図る。 通信環境の整備を実施する。	「非来館型サービス」と「来館型サービス」を並行して実施する。 「VPN接続」への変更を実施する。	【期末報告】 コロナ禍蔓延を契機として高まった、自宅からの図書館資料へのアクセス実現や貸出冊数・貸出期間の変更は、元々存在していたニーズが顕在化したものと捉え、アフターコロナにおいてもスタンダードな取組として定着させるべく、図書館利用規程の改正を実施した。	A	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	グループ学習エリアなどの勉強しやすい空間の拡充	管財課	キャンパス再整備リニューアル計画において検討する。	キャンパス再整備リニューアル計画において検討する。	【期末報告】 キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき修繕・改修等の優先順位を含めた見直しを行い、順次必要性の高い部分から実施し、反映していく方針とした。	C	10%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
環境及び防災に配慮した機能の整備	横浜市・總持寺と連携した防災機能の強化	管財課	横浜市との「大規模地震等の災害時における避難施設の提携協力に関する協定」(平成25年度締結)及び「災害時における施設等の提供協力に関する協定」(平成26年度締結)に基づき、帰宅困難者の一時滞在施設となっている。 横浜市より帰宅困難者用(500人分)の備蓄品の受け入れを行っているため、腐食等のないよう適切に備蓄する。 また、本学独自の災害対策備蓄用品・非常食等については、1号館・2号館・体育館に整備しており、同様に腐食等のないよう適切に備蓄し、非常食が賞味期限切れとならないように廃棄及び新規分の購入を行う。	・防災備蓄品の在庫調査 ・非常食の賞味期限時期の管理 ・非常食の廃棄及び新規購入	【期末報告】 ・横浜市の備蓄品は適切に備蓄し、非常食も賞味期限が2023年8月であることを確認した。 ・本学独自の備蓄品の在庫、非常食の賞味期限時期を調査し、賞味期限を迎える1200食分を学生や近隣住民に配布したりし、新たに1200食分を購入し備蓄した。	A	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	省エネ化と太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用推進	管財課	・各所設備機器の更新に合わせ、高効率型機器への更新、蛍光灯のLED化を実施する。 ・記念館空調設備を更新する。(3年次計画1年目) ・体育館第1競技場空調設備を更新する。	・各所設備機器の更新に合わせ、高効率型機器への更新、蛍光灯のLED化を実施する。 ・記念館空調設備を更新する。(3年次計画1年目) ・体育館第1競技場空調設備を更新する。	【期末報告】 ○空調 ・2号館研究室(クラブリ、解剖)、病院の薬局システムを高効率型へと更新を行った。 ・都市ガス振興センターの補助金を利用して、体育館第1競技場に空調設備を新設した。 ○照明 ・2号館研究室(口腔衛生、保存修復、麻酔)、大学会館1階事務室、6号館エントランス等の照明をLEDへと更新した。	B	30%	B	2021年度【期末報告】を文章化して、報告内容が伝わるよう修正を行ってください。 ----- 修正内容を確認しました。 今後も継続して、改善・向上に努めてください。